

## 第40回 多機能ホーム二之宮 運営推進会議事録

(グループホームこもれび)

日時：令和4年 1月12日(水) 14時～

場所：多機能ホーム二之宮 1階相談室

### 1 事業所挨拶

令和4年がスタートし約2週間が経ちました。ここ2年程はコロナ禍の影響があり地域の皆様との交流が出来ず、また利用者様や入居者様にも様々な規制を強い事となり、大変苦しい時間が続いています。そんな中、今年も新年早々コロナウイルス(オミクロン株)が爆発的に流行の兆しが見られ、多機能ホーム二之宮としましても社会情勢やウイルスの拡大防止の観点から面会規制をせざる得ない状況となってしまいました。現時点では収束の兆しが見えない状況にありますが、何とか皆でこのコロナ禍を乗り切り、以前のような笑顔あふれる時間がもてるよう頑張って行きましょう。本年も宜しくお願致します。

### 2 出席者紹介

- ・片松 清司 (多機能ホーム二之宮・小規模多機能ホームぬくもりの家 管理者)
- ・神尾 厚子 (グループホーム こもれび 施設長)
- ・高尾 美紀 (グループホーム こもれび 計画作成者)
- ・竹原 智子 (小規模多機能ホームぬくもりの家 計画作成者)
- ・河野 一弥 (小規模多機能ホームぬくもりの家 計画作成者)

### 3 事業所よりの状況・活動報告

入居者男性2名、女性15名、合計17名です。平均介護度3.1、平均年齢90歳です。12月に看取りを行いました。この方は、最初刻み食のトロミ付きで召し上がっていました。徐々に飲み込みが悪くなり、ゼリー食に変更しました。ゼリー食の方が喉の通りがいかと思いましたが、むせがあり熱も出るようになりました。ゼリー食よりミキサー食の方がむせが少ない事がわかりミキサー食に変更しました。飲み込みが悪くむせがある方で、食事時間も厨房に頼み早く作ってもらい1時間かけて食事介助しました。何度も声掛けし10割召し上がる日もあり職員もうれしく思う日もありました。しかし、その後声掛

けしても1日、2日となりました。亡くなる前日家族が食事介助してくれました。職員介助で2口しか食べていませんでしたが、家族が介助すると家族の方を向いて更に2口食べてくれました。最後に家族に食べさせてもらい本人も幸せを感じたではないでしょうか。看取りをすることはつらい事ではありますが、そのような時間に立ち合う事が出来き、私達の仕事の意義を感じました。

グループホーム こもれば  
施設長 神尾厚子